

活動分野	森に親しむ野外講座 県外第二回		
タイトル	小網代の森と海—いきものの住み分けミュージアム		
実施日時	平成30年7月2日（月）8時00分～18時15分		
実施場所	神奈川県三浦市		
受講者	会員44名	F I C会員他スタッフ	5名

## 活動の内容

梅雨明けで、雨の心配はありませんでしたが、逆に熱暑の海浜散策で、熱中症の心配がありました。出発地点の京急油壺マリーナで下車し、柔軟体操後、班別に海岸に降りて行きました。幸い



海風が結構吹いていて、思いがけなくスカシユリが沢山咲いていて、皆さん急に元気が出てきました。更に進むと優良な砂浜の指標種と言われるネコノシタの花、テリハノイバラの白い花など、下見の際にはみられなかった花々が咲いていて、暑さも吹き飛び無事に浜辺の散策を終了しました。他にも、ハマゴウ、ハマダイコン、ハマユウ、ハマエンドウ、クコ等厳しい環境で生き抜く可憐な花々が印象的でした。



午後からは、いよいよ小網代の森と海の散策です。NPO法人小網代野外活動調整会議代表の方から、小網代の森を「流域まるごとの自然保護」地域として保全活動を展開してこられた経過の説明を受け、いよいよ干潟での「カニのダンス」を観察に向かいました。当日の干潮時刻は13時03分、20分ほど遅れて到着しましたが、狭いエリアにたくさんのチゴガニの雄が、雌への求愛行動としてハサミを上下に、ま



るで手招きをしているようでした。じっくりと

観察した後、河口部から山手に向けて植物の生息域が順次入れ替わる状況を見て歩きました。歩けるのは、木道のみでしたので、源流部を直接見ることはできませんでしたが、里山の面影を残す薪炭林の辺りまで進み、アスカイノデが生い茂る沢筋の道にて引き返しました。以上